

平成27年11月16日(月) 第3回検討会が
ワークショップ形式で開催されました



第3回

座間市入谷地区 住居表示検討会

入谷地区では、昭和51年に町名を変更しましたが、住居表示を行わず、地番を住所として使用してきました。しかし、時代の変化とともに家が密集し、様々な理由から住所がわかりにくくなっています。

そこで、入谷・周辺自治会の方を交えて、どのように住居表示を進めるべきか皆様に検討をお願いしたいと考えました。

ワークショップ形式での住民参加型の検討会で

“現状・課題を把握しながら取りまとめ、あたらしい町の境界・あたらしい町名の検討”を
目的に開催しています。

第1回 検討会

『住居表示のしくみについての周知』

- 3つのグループに分かれ課題地図を使って住所から場所を探してもらい、住所表示実施前と後で何がわかりやすいのかわかりにくいのかを体験。 ● 入谷地区の住居表示に関する問題点や意見出し。

第2回 検討会

『町の境界・形状・規模・町名を考える』

- 入谷地区の地図を使って新町界・新町名を考える。

第3回 検討会

『2回の結果を整理し各種問題点を検討』

- 作ってもらった案を市でまとめ、これを基に各班で境界・町名等の設定理由を説明してもらう。

第4回 検討会

『町割の検討』『市民の方へのアンケート内容の検討』

- 現在検討中の町割の統一案を考える。
- 住居表示の実施について、市民の方にはどのようなアンケートを行えばよいか考える。

第5回 検討会

『市民の方へのアンケート内容の検討』（次年度開催）

- 今までの検討会を踏まえ、市民アンケートの内容について具体的に議論する。

検討会の流れ

はじめの挨拶

都市部長の挨拶に続き谷口会長の挨拶。

14名中、11名で定足数に達したため検討会規約「第6条第2項」により検討会が成立。

ワークショップの進め方について

今回はワークを2回に分けて行うため流れについて、課長から説明がありました。

今回は地元の『タウンニュース』の取材がありカメラ撮影なども入った検討会でした。

1回目グループワーク 検討内容の発表

前回検討した内容と特徴を再度確認。さらに他の班へ確認したいことなどを拾い出し、各班それぞれの特徴を整理した資料を作成してもらいました。

まとめた全体図に、町割りに際しての考えなどを記入した付箋紙を貼って行きながら班ごとに特徴を発表してもらいました。

他の班との質疑応答

町の区切り方に対する考えの違いや実施時期に関する意見の確認などが話し合われました。

2回目グループワーク 検討内容の発表

他の班の意見も踏まえながら、前回の検討内容を整理し直し町割案を作成してもらいました。当初案から最終案への変った部分について班ごとの特徴を発表してもらいました。

おわりの挨拶

来年度の市民アンケートについての話の後、おわりの挨拶があり閉会。

第3回検討会の内容

